

NEW



しんじょう君

高知県須崎市のご当地キャラクター。須崎市の新莊川で最後に目撃されたが、残念ながら絶滅種指定されたニホンカワウソがモチーフ。そして須崎名物鍋焼きラーメンをモチーフにした帽子をかぶっている。県内のみならずTV出演や海外にも出張して魅力いっぱいの須崎市をPRしている。

原型制作：村田明玄

帽子が脱げるよ！



坂本龍馬像

坂本龍馬は1835年(天保6年)、高知城下(現在の土佐市)に生まれた。2015年には生誕180年を迎えたが、今なお人々を魅了し、多くの龍馬ファンが高知を訪れる。高知県内には数々の龍馬縁の地があるが、中でも桂浜に立つ「坂本龍馬像」は龍馬ファンの「聖地」である。

原型制作：香川雅彦



鉄道ホビートレイン



2014年に「鉄道模型と走るアミューズメントトレイン」として登場。キハ32形気動車を改造し、車内には鉄道模型を展示するショーケースや記念撮影ができる転換座席を設置。0系新幹線のような外観だが、窪川—宇和島間を約2時間かけてのんびりと走り、車窓の外に広がる清流を眺めながら旅することができる。

原型制作：谷明



高知城

本丸の建造物が江戸時代の姿のまま揃って現存するのは全国でも高知城のみで、天守を含む15の建造物が国の重要文化財に指定されている。当初は「河中山城」という名であったが、度重なる水害に悩まされたため「河中」という字を嫌って「高智山城」と改名された。それが「高知」の地名の由来だといわれている。

原型制作：村田明玄



高知家

高知

高知おみやげカプセルフィギュア
フィギュアみやげ
高知県×株式会社海洋堂

SEASON
2

FIGURE PRODUCED BY
KAIYODO

造形企画制作
株式会社海洋堂



PRODUCED BY
KENELEPHANT



原型制作：村田明玄

くろしおくん

土佐湾沖を流れる「黒潮」をモチーフに、明るく元気な高知県のイメージキャラクターとして誕生した「くろしおくん」。「よさこい高知国体」や「花・人・土佐であい博」のイベントで活躍後、地域のイベントや県外のイベントでも活躍。今日も県のおちこちで高知をアピール中。



ニタリクジラ

スラリとした体型と穏やかな性格から『海の貴婦人』とも呼ばれるヒゲクジラの種類。高知民謡『よさこい節』で歌われるなど、古くから土佐の人々に親しまれている。土佐湾にはニタリクジラが定住していることが近年の調査で判明し、日本で唯一、ニタリクジラを対象としたホエールウォッチングが楽しめる。

原型制作：
松村しのぶ

かつおのたたき

高知に行ったら必ず食べたいのが「かつおのたたき」。高知県民はかつおが大好きで、年間消費量は断トツの1位。なんと全国平均の4倍も食べているのだそう。本場・土佐の食べ方といえば「藁焼き」。藁で燻された香りと香ばしい皮の歯ごたえが絶品。



原型制作：寺岡邦明

カツオにゃんこ

高知にも数々のご当地キャラクターが存在する。「カツオにゃんこ(鯉猫)」は鯉が好きすぎて、体が鯉のようになった子猫。正面から見るとまん丸おめめの子猫だが、背中と後頭部にはヒレがついている。現在は高知県各地のイベントや観光地、また県外のゆるキャライベントなどで高知のPR活動に励んでいる。



原型制作：香川雅彦

はりまや橋

「はりまや橋」は、高知県民謡として古くから伝わる『よさこい節』の中で「土佐の高知のはりまや橋で 坊さんかんざし買うを見た よさこいよさこい」と歌われ、高知の名所として全国的にその名が知られている。現在の朱塗りの橋は、江戸の頃の姿をイメージしてデザインされたものだろう。



原型制作：村田明玄